

映画「ミッション(仮題)」

ドキュメンタリー映画プロジェクト

企画制作資料

2023/5

株式会社ディンギーズ 担当：藤原福次

〒573-1134 大阪府枚方市養父丘 1-11-9 TEL：072-396-0729

<https://www.inochi-hospice.com/>

■はじめに

近江八幡市を舞台に、そこに暮らす人々と医療との関わり、ホスピス医細井医師と後継者、医療スタッフと患者との関わりを撮影、ドキュメンタリー映画「ミッション（仮題）」として製作します。映画では日々のホスピス病棟での活動を中心に、患者とその家族が安心して残された大切な時間を過ごす様子を描きます。

■映画の企画概要

◆企画の背景

近江八幡は、近江商人発祥の地として知られる。

しかし、もう一つ忘れてならないのは、ウィリアム・メレル・ヴォーリズがこの地を拠点として精力的に活動し、「青い目の近江商人」と呼ばれたことである。

これには若干補足が必要であり、ヴォーリズが建築や医薬品輸入事業などを精力的に行った背景には信仰と事業を両立させ、近江八幡において医療や教育といった慈善事業を幅広く行うためであった。ヴォーリズ記念病院は、ヴォーリズが結核患者の療養施設として大正7年に開院した近江サナトリウムが前身である。

ヴォーリズの隣人愛の精神に基づき、全人的医療、全人的ケアを実践する病院としての役割を近江八幡で果たし続けている。

◆企画の趣旨

2021年1月の元ホスピス長・細井順医師の復帰。翌2022年11月竣工の新病院によって、ヴォーリズ記念病院は新たなフェーズに移行する。

それは、近江八幡の自然環境と融合した病院づくりであり、旧病院も活用した地域コミュニティの拠点としての病院展開である。

さらに、現行の院内独立型のホスピス「希望館」を新病院では院内病棟型とし、現在も実施されている在宅医療との連携に加えて院内各部門との連携強化を行うことで、より丁寧で充実したケアを提供することを目標に掲げている。

◆撮影プランについて

細井順医師の復帰から新病院竣工、新病院の医療活動、ホスピス病棟と院内区部門との連携、地域医療往診風景や、看取りの風景を撮影する。

■制作スケジュール(予定)

2021年12月	希望館での最後のクリスマス会
2022年1月～11月	新病院建築の様子
2023年3月～	新病院ホスピス病棟を中心に地域医療機関への密着取材
2023年 夏	クランクアップ／編集作業へ
2024年	劇場公開予定

■劇場公開

「ミッション（仮題）」は、過去作品「いのちがいちばん輝く日」（2013）、「四万十 いのちの仕舞い」（2018）、「結びの島」（2020）、「明日香に生きる」（2023）同様、全国劇場公開および自主上映会にて一般に公開します。

・主な視聴対象

50代以上の女性（※過去作品のデータより）
 生きることや死ぬこと、看取りについて関心のある方
 医療関係者、介護関係者、それらを目指す学生さん

・劇場公開 ※2024年公開予定

イオンシネマ他、シネマコンプレックス（全国）
 京都シネマ、第七芸術劇場他、ミニシアター系映画館（全国）にて公開

・自主上映会 ※2024年劇場公開終了後に解禁予定

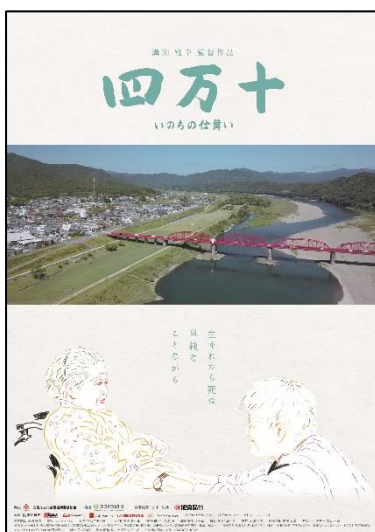
全国各地の自主上映会主催団体、各地の市民会館の自主事業など



「結びの島」（2020）



「いのちがいちばん輝く日」（2013）



「四万十 いのちの仕舞い」（2018）



■過去三作品の公開劇場一覧

			いのち	四万十	結びの島	
東北	青森	イオンシネマ弘前		○		
	岩手	イオンシネマ北上	○			
	山形	イオンシネマ天童	○			
関東	山形	イオンシネマ米沢	○			
	東京	アップリンク	○			
	東京	新宿 K's cinema	○	○	○	
	東京	シネマ・チュプキ・タバタ		○		
	埼玉	深谷シネマ		○		
	神奈川	横浜ニューテアトル	○			
	神奈川	横浜シネマリン		○	○	
東海	愛知	名古屋シネマテーク	○	○	○	
	愛知	イオンシネマ豊川	○		○	
	愛知	イオンシネマ名古屋茶屋			○	
	三重	イオンシネマ津	○	○	○	
	石川	イオンシネマ金沢			○	
関西	大阪	第七藝術劇場	○	○	○	
	大阪	シアターセブン	○	○	○	
	大阪	イオンシネマ茨木			○	
	大阪	イオンシネマリんくう泉南	○			
	京都	京都シネマ	○	○	○	
	京都	イオンシネマ高の原	○	○		
	兵庫	元町映画館	○	○	○	
	滋賀	イオンシネマ近江八幡	○	○	○	
	滋賀	イオンシネマ草津	○	○		
	奈良	イオンシネマ西大和	○		○	
	和歌山	イオンシネマ和歌山		○	○	
	中国	広島	横川シネマ	○	○	○
		広島	シネマ尾道			○
広島		福山駅前シネマモード	○			
広島		イオンシネマ広島			○	
岡山		シネマ・クレール	○			
岡山		イオンシネマ岡山			○	
山口		イオンシネマ防府			○	
山口		MOVIX 周南			○	
四国	香川	ソレイユ・2	○			
	香川	イオンシネマ高松東		○		
	徳島	イオンシネマ徳島		○		
	愛媛	シネマルナティック	○			
	愛媛	イオンシネマ今治新都市		○		
	高知	TOHO シネマズ高知		○		
九州	福岡	イオンシネマ福岡		○		
	福岡	イオンシネマ大野城	○			
	熊本	イオンシネマ熊本			○	

■ご協賛のお願い

映画「ミッション（仮題）」は、皆様からのご支援により映画製作・劇場公開を行います。
全国の皆様へ映画をお届けするためのご支援をお願いいたします。

■ドキュメンタリー映画「ミッション（仮題）」制作協賛金募集要項

- 協賛金名：ドキュメンタリー映画「ミッション（仮題）」制作プロジェクト 協賛金
- 協賛金使途：映画制作費（製作・宣伝・劇場公開に関わる経費）
- 協賛コース：
 - 特別協賛金：100万円（企業・団体・個人）
 - 企業協賛A：50万円（企業・団体）
 - 企業協賛B：10万円（企業・団体）
 - 個人協賛：1万円～（個人）

●協賛特典：

映画 WEB サイト・パンフレットにてお名前をご紹介します。個人協賛・企業協賛Bの方はお名前、企業協賛Aの方は企業・団体のロゴを映画エンドロールにてご紹介いたします（予定）。

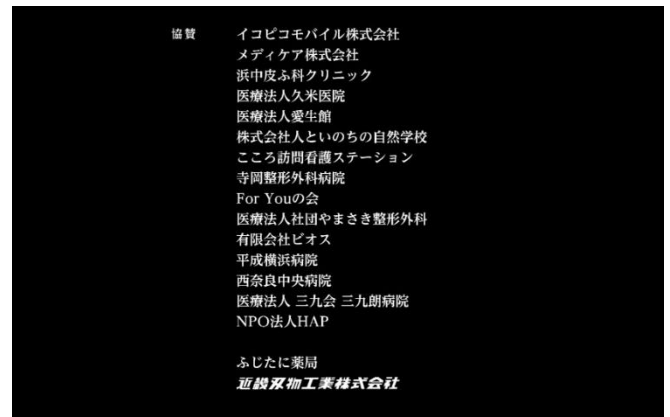
特別協賛・企業協賛Aの方は、以上に加え、映画ポスター、チラシにもお名前を掲載します。

※お名前の掲載はご希望の方のみ。

■協賛方法

別紙、協賛申込み用紙にご記入いただき FAX をお送りください。WEB サイトからもお申込みいただけます（<https://www.inochi-hospice.com/>）。申込用紙到着後、折り返しご連絡いたします。

※エンドロールイメージ



※ポスター・チラシイメージ



■ご協賛のメリット

「豊かな最期」をテーマにする本作品を支援される貴社の姿勢を、全国の皆様へ良いメッセージとして発信することができます。

◆自社をPRすることが出来ます

ドキュメンタリー映画は低予算で小規模公開、というのが通例です。

しかし、過去3作品では、北は青森から南は熊本まで全国規模での公開を実現しています。本作も同様に予定しています。

★過去3作品では、映画公開43劇場、観客動員数約30,000人を達成。

★自主上映会88団体、鑑賞者約10,000人を数えます。

◆近江八幡を全国へPRすることが出来ます

これらの方々に、近江八幡市の魅力をPRすることができます。

近江八幡の魅力を伝えることで、観光客の増加、就労者の増加、永住者の増加が期待でき、地域経済の活性化につながります。

※新聞各紙での報道事例

発行 隔週 2019年(平成31年)2月22日 土曜日 13版 生活 28

ホスピス 自分らしく生きる場



映画「いのちがいはんくく日」

ホスピスとは、終末期の患者さんやそのご家族の生活を支える場。映画「いのちがいはんくく日」は、4人の患者さんの日常を描く。4人の患者さんの日常を描く。4人の患者さんの日常を描く。

ホスピスとは、イギリス発祥とされ、日本ではおもに進んだがん治療が入院する。心身の痛みを和らげる緩和ケアを提供する。厚生労働省によると、緩和ケアの体制の整備は計270施設、5122床（2011年10月現在）。

ホスピスとは、イギリス発祥とされ、日本ではおもに進んだがん治療が入院する。心身の痛みを和らげる緩和ケアを提供する。厚生労働省によると、緩和ケアの体制の整備は計270施設、5122床（2011年10月現在）。

27 山梨 13版 2020年(令和2年)10月7日(水) 毎月

人生の終わり 寄り添う医師



ドキュメンタリー映画「結びの鳥」公開

高齢化が進む山梨県内海部地区で、人生の終わりを迎えた人たちに寄り添う医師に密着したドキュメンタリー映画「結びの鳥」(10月7日)が上映される。この映画は、終末期医療の現場に密着して撮影された海部精華聖監督の作品だ。

人口約4万5000人の山梨県で、終末期医療の現場に密着して撮影された海部精華聖監督の作品だ。

人口約4万5000人の山梨県で、終末期医療の現場に密着して撮影された海部精華聖監督の作品だ。

第3種郵便物認可

在宅医療の日々映画に



小笠原市(佐田)の病院。小笠原市(佐田)の病院。小笠原市(佐田)の病院。

小笠原市(佐田)の病院。小笠原市(佐田)の病院。小笠原市(佐田)の病院。

来月公開 命のしまい方見つけて

来月14日に試写会。来月14日に試写会。来月14日に試写会。

来月14日に試写会。来月14日に試写会。来月14日に試写会。

■制作費について

いただいた協賛金は、以下映画制作に関わる費用に活用させていただきます。

◆ 制作費用概算：10,000,000 円

- ・製作企画費： 500,000 円
- ・スタッフ費： 3,000,000 円
- ・機材費： 1,000,000 円
- ・ロケ経費： 1,500,000 円
- ・仕上げ費： 3,000,000 円
- ・公開準備費： 1,000,000 円

※別途：バリアフリー版製作費

◆ 協賛金：10,000,000 円

- ・特別協賛 100 万円×3 口=300 万円
- ・企業協賛 A 50 万円×10 口=500 万
- ・企業協賛 B 10 万円×15 口=150 万円
- ・個人協賛 1 万円×50 口=50 万円

※口数を限定するものではありません



■映画情報(予定) 2024年劇場公開予定

2024 年／日本／カラー／4KDCP／110 分 (予定)

- ・監督：溝淵雅幸
- ・音楽：ザビエル大村 (予定)
- ・撮影：長谷川智章
- ・録音：増田岳彦
- ・映像技術：スタジオ B&M (予定)
- ・サウンドミキサー：吉田一郎 (予定)
- ・後援：公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団
- ・制作：R's STAFF

■本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社ディングーズ 担当：藤原福次
〒573-1134 大阪府枚方市養父丘 1-11-9
TEL/FAX:072-396-0729 携帯:090-4649-3648
meil:jyo-ei@dinghies.jp